

2014年5月14日

東洋大学 産学連携企画 「タブレットPCを使った佐賀県武雄市スマイル学習 (反転授業)の検証研究会」のご案内

5月16日(金) 15:00～ (14:30受付開始)
於 東洋大学白山キャンパス 125記念ホール

この度、東洋大学(東京都文京区/学長 竹村牧男)は佐賀県武雄市(佐賀県武雄市/市長 樋渡啓祐)と共同して、5月16日(金)に「佐賀県武雄市スマイル学習の検証研究会」を開催いたします。

この研究会は東洋大学現代社会総合研究所・ICT教育研究グループの産学連携取組の一環です。

佐賀県武雄市は、2014年4月に全小学生にデジタル教育用のタブレットPCを配布し、5月からはタブレットPCを使った「スマイル学習(反転授業)」を始めます。

そのスマイル学習の効果などについて、東洋大学と武雄市は共同して検証作業を行うことになりました。つきましては、その検証の第一回の研究会を公開で行いますので、ご案内いたします。

<記>

<開催の概要>

開催日：2014年5月16日(金)

研究会 15:00～17:00(14:30受付開始)

場所：東洋大学白山キャンパス8号館7階 125記念ホール

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)

交通：都営地下鉄三田線「白山駅」・東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分

http://www.toyo.ac.jp/access/hakusan_j.html

※共同記者会見に変わり、16:30～17:00 記者質問時間を設けます

<研究会の内容>

- ・ICT教育の実施例の検証(武雄市「反転授業」)
- ・大学におけるICT教育のあり方の研究
- ・ICT教育推進のための政策提言

<おもな研究会参加予定者>

◇東洋大学

松原 聡

経済学部教授/武雄市ICT教育推進協議会委員長=研究代表

大熊 廣一

学校法人東洋大学常務理事/食環境科学部教授

◇武雄市

浦郷 究

武雄市教育長

代田 昭久

武雄市教育監・武雄市武内小学校校長

◇学外研究者

中村 伊知哉

慶応義塾大学メディアデザイン研究科教授/デジタル教科書・教材推進協議会事務局長

◇ICT教育関連企業

数研出版他教科書会社、DeNA 他

以上

※お手数ですが、取材をご希望の方は、別紙申込用紙に必要事項を記入の上、

5月15日(木) 17:00までにFAX またはメールにてご返信くださいますようお願い申し上げます。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局(株式会社イニシャル内) 担当：稲垣、大迫

TEL：03-5572-6062 FAX：03-5572-6065 MAIL：toyodaigaku@vectorinc.co.jp

【武雄市スマイル学習についてのお問い合わせ先】

佐賀県武雄市教育部スマイル学習課 担当：古賀 TEL：0954-23-9226 MAIL：smilesdu@city.takeo.lg.jp

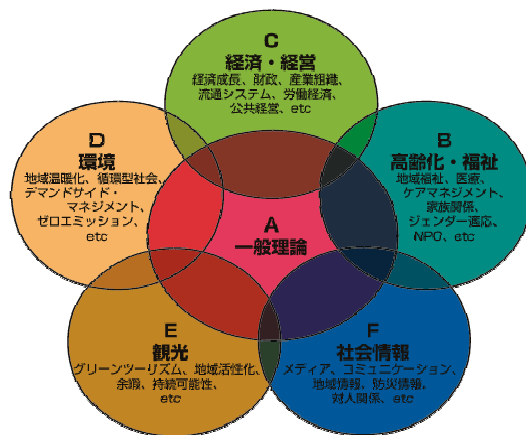
《参考資料》

■東洋大学現代社会総合研究所 研究所の活動

現代社会の諸問題に関する調査研究、内外の研究機関等との交流・提携、講演会・シンポジウム・研究会等の企画・開催、調査資料等の収集、研究成果の刊行などを行っています。シンポジウムについては、設立して以来今日まで、一貫して現代社会における環境問題をテーマに行っております。

近年の研究所プロジェクト（共同研究）としては、「産業技術・労働福祉・教育訓練政策の制度的・ミクロ的日欧比較実証研究」（平成24年度終了）、「福祉財源の適正化と「補完性原理」」などの課題で研究が進められております。

キーワードでみた6つの総合研究分野



現代社会総合研究所

■研究代表者プロフィール

松原 聡（マツバラ サトル）
経済学部総合政策学科教授 博士（経済学）

略歴

1954年、東京生まれ。筑波大学大学院修了。

1996年より東洋大学教授。経済政策、とりわけ民営化、規制緩和を専門にしながら、マスコミなどで積極的に発言。郵政改革（小泉内閣・郵政懇談会委員、通信放送改革（竹中大臣・通信放送懇談会座長）などで政府委員を務める。また、郵便事業株式会社取締役、日本公共政策学会会長、日本経済政策学会副会長を歴任。



■佐賀県 武雄市 スマイル学習について

反転授業は動画を家庭で予習することで、個人の習熟に合わせた学習が出来ることから、落第率が大幅に低下するなどの成果が出されており、10年ほど前から欧米を中心に導入されてきました。

武雄市のスマイル学習は、従来の「反転授業」のように単に動画で予習を行うものでなく、「目当ての確認」「一人調べ」など、授業内の一人でできる部分を動画を用いて家庭で学習を行い、学校では「教え合い」「学びあい」を中心とした授業時間の充実を図るとともに、タブレット端末を授業でも活用することにより、以下のような目的をもって取り組んでいます。

武雄市の導入目的

- ①児童・生徒が、より意欲的に授業に臨める。
- ②授業者が、学習者の実態をより正確に把握する。
- ③授業では、学びあい「協働的問題解決能力」を育成する。

佐賀県武雄市教育部スマイル学習課
TEL：0954-23-9226
MAIL：smile-sdu@city.takeo.lg.jp

